HITACHI
Inspire the Next

PoE対応センサゲートウェイユニット

SELSENS® Box Type-PoE

LANケーブル1本で設備・機器の情報をスマートにセンシングしてデータ伝送

特 長

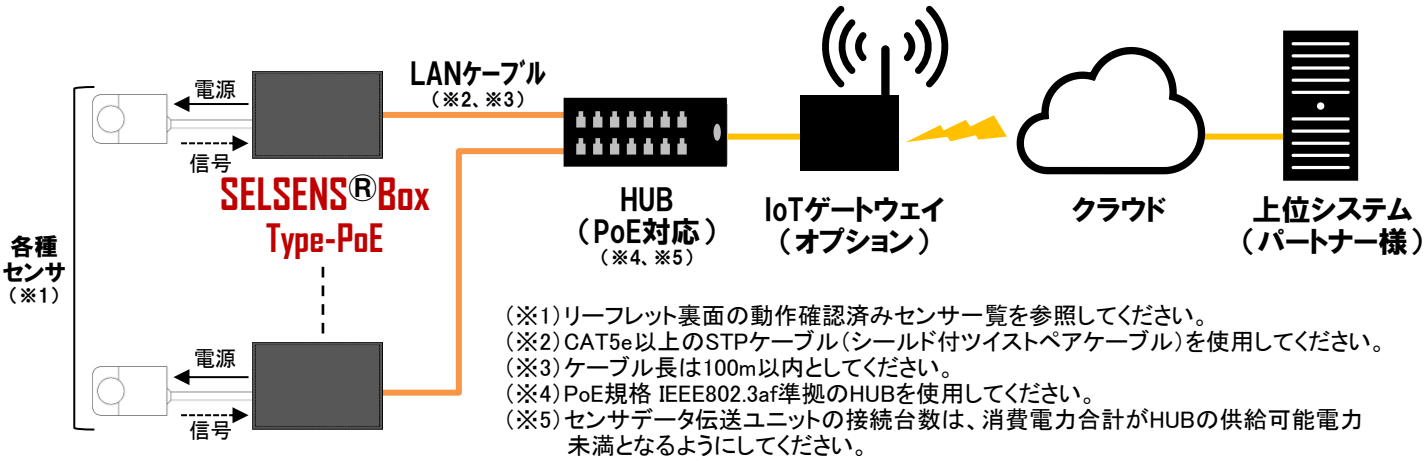
■LANケーブル1本でスマート接続・設置
PoE(※)によりLANケーブル1本で最大100m離れたセンサへの電源供給とデータ取得が可能。

■高速なデータ収集が可能
データ収集間隔は1ミリ秒。0.1ミリ秒周期の12bitA/D変換+平均化処理により、微小な変化を検出。

■各種センサの接続が可能
アナログ電圧(DC-5V～+5V)入力対応。電流4～20mA入力対応(ｵﾌﾟｼｮﾝ)も可能。

※ PoE ： Power over Ethernetの略。LANケーブル経由で接続した機器に電源を供給できる機能。PoE規格 IEEE802.3afで規程。

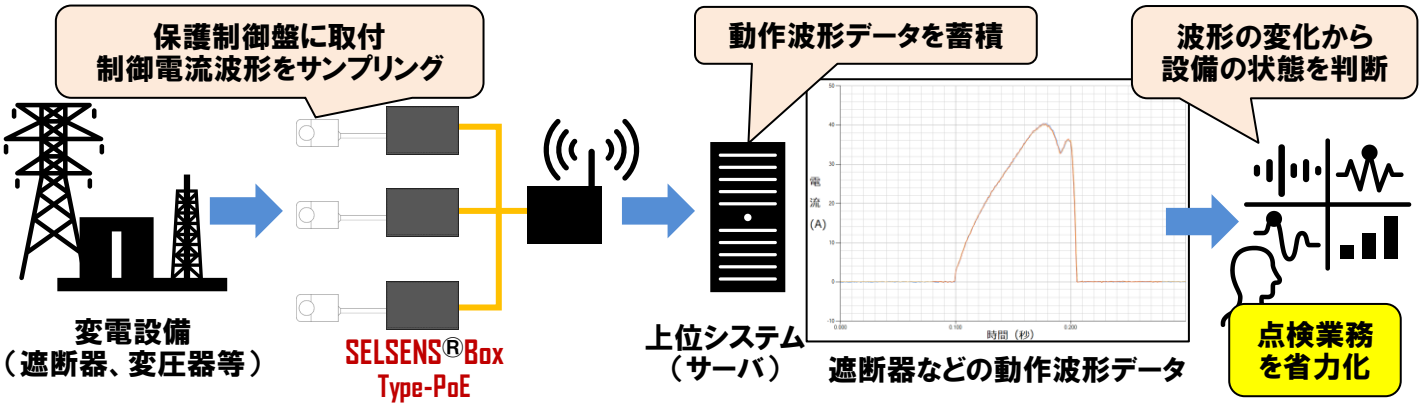
システム構成例



(※1)リーフレット裏面の動作確認済みセンサー覧を参照してください。
(※2)CAT5e以上のSTPケーブル(シールド付ツイストペアケーブル)を使用してください。
(※3)ケーブル長は100m以内としてください。
(※4)PoE規格 IEEE802.3af準拠のHUBを使用してください。
(※5)センサデータ伝送ユニットの接続台数は、消費電力合計がHUBの供給可能電力未満となるようにしてください。

適用事例 「 変電設備の動作データ取得による点検業務の省力化 」

【目的】変電設備(遮断器、変圧器等)の常時監視をすることで、保守点検の適切なタイミングを判断する。
【効果】分析結果を蓄積し、点検業務(点検項目・点検回数)の省力化に活用できる。



・SELSENS®は、日立アイイーシステムの登録商標(第6433020号)です。

株式会社 日立アイイーシステム

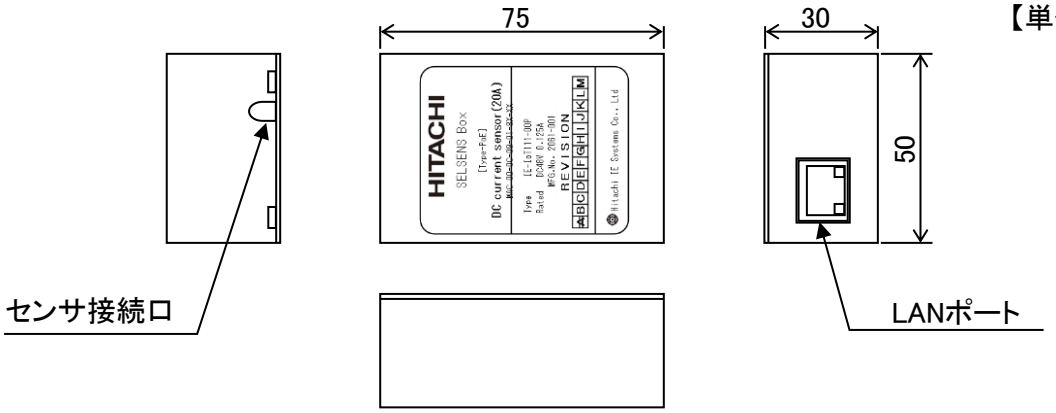
仕様

■ 仕様一覧 （SELSENS® Box Type-PoE 本体）

項目	仕様
アナログ入力	電圧 DC-5V～+5V ※使用コネクタ B04B-XASK-1（LF）（SN） JST製
デジタル変換	分解能 12bit（4096階調） データ収集間隔 1ミリ秒 （0.1ミリ秒サンプリング＋平均化処理）
電源供給	PoE給電 DC37V～57V ／ PoE規格 IEEE802.3af規格（Alternative A） LANケーブル CAT5e（最大100m）
通信方式	100BASE-TX 全2重×1ch
消費電力	約5W
外形寸法／質量	W75×H30×D50mm（突起含まず）／約150g
筐体材質	耐熱性ABS樹脂
使用環境	使用温度 -5～40℃ 氷結、相対湿度 30～80%結露なきこと

■ 外観・形状 （SELSENS® Box Type-PoE 本体）

【単位:mm】



■ 動作確認済みセンサー覧 （2025年2月現在）

メーカ	品名	型式	定格・仕様
URD	直流電流センサ	HCS-8-20AP-CL	定格電流 ±20A（max ±60A） 出力電圧 ±4V、制御電源 DC±15V
URD	直流電流センサ	HCS-10-50AJPCLS	定格電流 ±50A（max ±150A） 出力電圧 ±4V、制御電源 DC±15V
URD	直流電流センサ	HCS-16-100APCLS	定格電流 ±100A（max ±150A） 出力電圧 ±4V、制御電源 DC±15V

（注1）センサはご発注時にご指定いただき、本体に取り付けて出荷します。
（注2）一覧にないセンサについて、接続可否確認、カスタマイズ等のご要望もお受けします。

HIE-109	2025.2

株式会社 日立アイイーシステム
https://www.hitachi-ie.jp

会社概要　製品詳細

●本カタログに記載の内容は予告なく変更することがあります。

Printed in Japan